凄いですね～！私から見るとまさに奇跡としか思えないですね！

小杉：前に食生活とか変えたら改善はしないんですかと聞いたら、絶対しない！自分はそういう症例は見たことがないとキッパリ言われたんです。それが、全部治ってる。ＭＲＩのフィルムも真っ白になってるよ、と。

そういう奇跡とも言える報告を受けて本部長はどうでしたか？

本部長：嬉しかったですね。本当にね。

奇跡にもいろんな条件があると思うんですが、本部長は、何が今回の勝因だったと思われますか？

本部長：まず本人がとにかく治りたいという気持ちが真っ直ぐであること。そのための行動をちゃんと起こしてくれていること。そして期待をしてくれている。例えば、新潟からいらっしゃるということも大変なことではあるので、そのためだけに来た人はやっぱり治って帰らなきゃけないでしょ、と思う訳ですよ。

私も患者さんを区別はしないですけれども、それでも心の中でも、そこはクリアしたいなという気持ちも高ぶるものがあるので、常に全力ですけれども、その中のまた全力が出たかなと思います。

その中でも気導術だから、という意味合いについてはいかがですか？

本部長：手前味噌ですが、気導力という導いた気の力を…気導力自体は誰かを幸せにするための力だと思っているんですが、今小杉さんが良かったなという状況になるためには、気導力さんにどのような力を発揮してもらわなければいけないのか、そこを技術と合わせて二人三脚でやったと。それによって小杉さんも私も、また気導力も望んだ。みんながそこを望んだからここにたどり着いてる。みんな良かったね！と言い合えるような状況になるようにみんなで頑張った結果だと思います。

それは、我々が施術する場合も、患者さんとお医者さん、それに施術者がひとつのベクトルに向いてるというのは凄く大切なことなんですね？

本部長：はい。大事だと思います。

小杉：そうすると、受け入れが凄い。そうすると脳が活性化して、医者もわからないような凄い免疫力を出すこともあるんだと思いますよ。

小杉さん、今回の経験は治療家としても凄くプラスになりますね？

小杉：本当に人生が変わったという感じですね。話は変わりますが、私は長寿の家系で、私の祖母なんか一日も寝込むことなく毎日一番風呂に入って、百まで生きたんです。自然とすっとロウソクの火が消えるように亡くなりました。隔世遺伝だから、私も百までできるとは踏んでるんですよ。私は今七十五ですが、そのためには気導術の指導を仰がなきゃならないんです。歳とると腕力も体力もなくなるけど、気導術の技術があればやれると思うんです。

本部長＆私：私も頑張ります！

小杉：こんな私を頼ってくれる人がいるんですよ。だから神様が「もう少し長生きして、困ってる人を助けなさい」というご指示だと思っているんです。これからはご恩返しの人生だってみんなに言ってるんです。

素晴らしいですね。小杉さん、今度のますますのご活躍を期待しております。どうぞムリなさらないように。

本部長も、ありがとうございました。

本部長：ありがとうございました。本当にみんなに笑顔が戻った。傅さんも笑顔になって、奥さんも笑顔になって、心配されていた方に元気な傅さんの姿を見せることもできた。治ることは真剣に目指すと辿りつくんだ、という気持ちが強くなってくれれば、絶対いい結果に辿り着きやすいと思うんです。傅さんの今後のご健康とご活躍を期待しております。